

「生きる力」を育てるためのキーワード集 文献案内

「生きる力」を育てるためのキーワード集（その3）「中教審答申「令和の日本型学校教育」を読み解く」で紹介した内容については、下記の文献等も参考になります。ご参照戴ければ幸いです。



【「令和の日本型学校教育」】

- 中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年3月）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm

「令和の日本型学校教育」を理解するには、この答申を熟読することから始めるのがいいと思います。明治期から続く「日本型学校教育」において、日本の学校が、学習指導とともに生徒指導の面でも主要な役割を担いながら、子供たちの知・徳・体を一体的に育むという成果を挙げてきました。その一方、急激に変化する時代の中で、今日の学校は、教員の負担増、多様化する子供たちや情報化への対応等、様々な課題に直面しています。このことを踏まえ、急激に変化するこれからの社会において求められる資質・能力を踏まえた学校教育の姿が、子どもの学び、教職員の姿、それらを支える環境といった視点から、また、幼稚園から高校、特別支援教育までの学校段階を踏まえた立場から描かれています。

【「個別最適な学び」と「協働的な学び」】

- 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省初等中等教育局教育課程課、令和3年3月版）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext_01317.html

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を理解する上で、令和3年答申や新学習指導要領を踏まえてまとめられたこの資料が役立つと思います。多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図り、学習指導要領の着実な実施につなげるための「教育課程の編成」、「カリキュラム・マネジメント」、「学習評価」、「児童生徒の発達の支援」、「家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携」等のテーマが取り上げられています。

【履修主義と修得主義】

- 学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省初等中等教育局教育課程課、令和3年3月版）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext_01317.html

本資料の巻末に、履修主義と修得主義、年齢主義と課程主義について、そのメリット・デメリット等も含めて簡潔にまとめられています。

また、平成15年5月15日、中央教育審議会が文部科学大臣から受けた諮問「今後の初等中等教育改革の推進方策について」の審議経過をまとめた文書、例えば「義務教育に係る諸制度の在り方について（初等中等教育分科会の審議のまとめ）」には、履修・修得主義等について各委員から出された意見が掲載されており、どのような議論があったのか知ることができます。

【教科担任制】

- 文部科学省「義務教育9年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議」
(第1回検討会議 (2020.10.7) 兵庫県資料：兵庫型教科担任制 (兵庫県教育委員会)
https://www.mext.go.jp/content/20201007-mxt_zaimu-000010292_8.pdf
- 大分県教育委員会「小学校教員の専門性を高めた質の高い授業の促進～小学校教科担任制の導入～手引き」(2021.3、Ver.3)、同上 (2020.3、Ver.2)
<https://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/kyoukatanninsei2.html>
- 鳥取県教育委員会「小学校高学年における教科担任制の導入研修事業」(2017、2018年度)
<https://www.pref.tottori.lg.jp/273629.htm>

教科担任制は、学校規模や地域事情などと関連するため一様ではなく、いくつかの類型でとらえられます。そこで、パイロットスクールで試行された事例や、すでに全県的に実施されている例を参考資料として、上記の3つを紹介します。

【STEAM教育】

- 文部科学省「STEAM教育等の各教科等横断的な学習の推進について」(資料) 2021年
STEM教育の広がりやSTEAM教育の解釈、さらに学校教育におけるSTEAM教育等の教科等横断的な学習の推進等が提示されています。また、令和3年1月26日 中央教育審議会答申の「STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成」に関する項目の骨子が提示されています。
ほかに、「新しい時代の初等中等教育の在り方について(抄)」(平成31年4月中央教育審議会諮問)、「技術の進展に応じた教育の革新(抄)」(令和元年5月教育再生実行会議提言)、「統合イノベーション戦略2019」(令和元年6月閣議決定)、「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」(令和元年6月閣議決定)等があります。

【GIGAスクール】

- 赤堀侃司・堀田龍也・久保田善彦(監修)つくば市教育総局総合教育研究所・つくば市立みどりの学園義務教育学校(編著)『GIGAスクールで実現する新しい学び～1人1台環境での学力向上と全職員でのオンライン学習～』東京書籍、2021年
第1章では、「GIGAスクール時代のICT活用」について「学びを止めないためにすべての児童生徒に先進的な学習環境を」「アフターコロナ時代のICT活用とは」「GIGAスクールで活躍する教師」、第2章では、「学びを止めず誰一人取り残さないつくば市のICT教育」について「学びを止めず誰一人取り残さないICT教育を実践したつくば市の教育」「休校時も登校時も学びを止めないシームレスな教育活動を目指します」が事例をもとに述べられています。第3章では、「学びを止めない、みどりの学園休校中のオンライン学習」について12の実践事例、第4章では、「1人1台環境で実現する新しい学びの実践事例」について38の実践事例が紹介されています。

【デジタル教科書】

- 文部科学省「学習者用」デジタル教科書実践事例集 2021年追補版(2021.3)
https://www.mext.go.jp/content/20210325-mxt_kyokasyo01-100014398_01.pdf
- デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議(第一次報告)(2021.6)
https://www.mext.go.jp/content/20210607-mxt_kyokasyo01-000015693_1.pdf

デジタル教科書は、令和6年度の本格的な導入を目指して、どの単元のどのような学習場面でどのように活用するか？紙の教科書や教材、デジタル教材や学習者用コンピュータの機能等とどのように併用していくか？学習課題や見通しをどのように持たせ、教師による一斉提示と児童生徒による個別あるいは対話的な学習をどのように組み合わせるか？特別な配慮を必要とする児童生徒にどのように対応するか？など、その効果的な指導方法が模索されている段階です。そこで、すでに実践された事例をもとに、各学校の状況とも照らし合わせて考えてみて下さい。